

第3日目 8月26日(土) 10:00~12:00 『多文化共生・コミュニケーション』

10:00
~11:00

プログラム⑤ YOKEの『多文化共生のまちづくり』と『グローバル人材育成』の取組について

- 講師：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE) グローバル人材育成支援課
- ◆セミナー：現在、44人に1人が外国人市民である横浜において、YOKEは外国人が暮らしやすく、社会参加しやすい「多文化共生のまちづくり」に力を入れています。同時に、地球規模の課題に取り組む国際機関とYOKEの「多文化共生のまちづくり」への取組を若い世代に伝え、「だれもが」「安心して」「豊かに」暮らせる社会をめざして行動できる『グローバル人材の育成』をすすめています。この2つの取組を御紹介します。



横浜市国際交流協会 (YOKE) は、横浜の国際都市としての発展に寄与するために、多文化共生のまちづくり及び国際協力・交流に関する活動を推進する横浜市の公益財団法人です。私たちは、国際都市横浜の歴史的・文化的特性を継承しつつ、異なる文化や価値観をともに認め、尊重し合える豊かな社会づくりを目指します。 <http://www.yoke.or.jp> (日本語)

11:00
~12:00

プログラム⑥ 「ドイツ語とドイツ文化の普及と交流推進について」

- 講師：ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター横浜校 語学部 検定試験・ニューメディア担当 ヤン・ヒレスハイム
- ◆セミナー：世界98カ国で展開しているゲーテ・インスティトゥートの活動とはどのようなものでしょうか？ダイナミックでバラエティーに富んだ活動に触れてみましょう。ゲーテ・インスティトゥートはドイツ国内では、難民のドイツ語学習や、異文化の中で自己表現を試みる文化活動の支援も行っています。その一端も、御紹介します。



ゲーテ・インスティトゥート (Goethe-Institut) はドイツ連邦共和国の文化機関で、世界各地で活動を行っています。98カ国159のインスティトゥートでドイツ語の普及を促進し、世界の国々とドイツとの文化交流を実践し、ドイツの現代の全体像を紹介しています。東京ドイツ文化センターは50年以上にわたり、両国の文化交流に努め、横浜校は2016年4月に開校。語学コースや文化イベントを行っています。 <http://www.goethe.de/tokyo> (日本語)

第3日目 8月26日(土) 15:00~17:00 『国際機関で働きたい人のためのキャリア・ガイダンス』

15:00
~17:00



- 講師：外務省国際機関人事センター事務官 加藤 香子(かとう こうこ)さん
- ◆セミナー：国際機関で勤務するための方法やそれに向けた準備について、講師よりお話しします。加えて、JPO (ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー) 派遣制度で国際機関職員として勤務されており、一時帰国中の榎野さんをゲストに招き、ご自身のキャリアパスや体験談を紹介していただきます。楽しみになさってください。



●ゲスト: JPO 体験帰国者 榎野 亘(かしわの わたる)さん、医師(内科・精神科医)



国連薬物犯罪事務所ウィーン本部へ JPO (ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー) として派遣され、Associate Expert in Drug Demand Reduction として活躍中。薬物依存症の治療に関する国際標準ガイドラインや治療機関のサービス向上のための施設評価基準の作成など、科学的根拠と人権に基づく薬物依存症治療の拡大に資する多数のプロジェクトに従事されています。

☆国連薬物犯罪事務所は、持続可能な開発と人間の安全保障を確保する観点から、不正薬物、犯罪、国際テロリズムの問題に包括的に取り組んでいます。

◆JPO (ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー)とは

日本政府が2年間、将来的に国際機関で勤務することを志望する若手日本人を国際機関へ派遣する制度です。実際に勤務経験を積む機会を提供することにより、正規職員への途を開くことも目指しています。国際機関で働くためには、どのような分野でどういった職種に就きたいか、それに向けた大学や大学院、その後のステップを早いうちからより具体的に考えておく必要があります。今回の講座が皆さんの今後のキャリア設計に少しでもお役に立てれば幸いです。